

講義コード	U200400101	科目ナンバリング	020C201
講義名	商法(経済学部)		
英文科目名	Commercial Law		
担当者名	神田 秀樹		
単位	4	配当年次	学部 2年～4年
時間割	通年 木曜日 3時限 中央－302		

授業概要

会社法(株式会社に關する部分)について講義する。

到達目標

会社法に關する基礎的な知識と法の考え方を修得することを目標とする。

授業内容

実施回	内容
第1回	会社法の全体像、会社の類型と種類、株式会社の特質、株式会社法の歴史
第2回	株式会社の設立
第3回	株式(1)―株式の意義、株式の共有、株主有限責任、株主平等原則、利益供与の禁止
第4回	株式(2)―株式の内容と種類株式
第5回	株式(3)―株式の流通
第6回	株式(4)―株式の評価、株式の消却・併合・分割、株式無償割当て
第7回	株式(5)―会社に対する株主権の行使、単元株制度、その他
第8回	資金調達全体の像、募集株式の発行等(1)
第9回	募集株式の発行等(2)
第10回	新株予約権
第11回	株式会社の機関(1)―機関の意義、機関設計
第12回	株式会社の機関(2)―株主総会(その1)
第13回	株式会社の機関(3)―株主総会(その2)
第14回	株式会社の機関(4)―取締役・取締役会・代表取締役(その1)
第15回	復習
第16回	株式会社の機関(5)―取締役・取締役会・代表取締役(その2)
第17回	株式会社の機関(6)―会計参与、監査役・監査役会、会計監査人、監査等委員会設置会社、指名委員会等設置会社
第18回	株式会社の機関(7)―役員等の損害賠償責任
第19回	株式会社の機関(8)―株主代表訴訟と差止請求権
第20回	株式会社の計算(1)―全体像、計算書類の作成・監査・開示、資本金・準備金・剰余金
第21回	株式会社の計算(2)―剰余金の分配
第22回	社債
第23回	新株予約権付社債
第24回	組織再編(1)―全体像、組織変更、事業譲渡等
第25回	組織再編(2)―合併、会社分割
第26回	組織再編(3)―株式移転・株式交換、企業グループ
第27回	企業買収(1)―友好的な企業買収、キャッシュアウト(その1)
第28回	企業買収(2)―友好的な企業買収、キャッシュアウト(その2)
第29回	企業買収(3)―敵対的な企業買収と防衛策
第30回	まとめ

授業計画コメント

進行状況に応じて内容・進め方などを変更することがある。

授業方法

講義形式で行う。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

事前に教科書の該当箇所を読み、関連判例にあたっておくことが望ましい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)		
学年末試験(第2学期)	60 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	40 %	
その他(備考欄を参照)		

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

第1学期の最終回に小テストを行う予定(その結果は平常点として考慮する)。
学年末試験については、後日、G-Port等を通じて解説を行う。

教科書

会社法,神田秀樹,弘文堂,22,2020

教科書コメント

教科書は、他の体系書でもよい。
最新版の六法を持参することが望ましい。

参考文献

会社法入門:岩波新書,神田秀樹,岩波書店,新,2015

参考文献コメント

その他の参考文献は、授業のなかで紹介する。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>

講義コード	U200401101	科目ナンバリング	020C200
講義名	民法(経済学部)		
英文科目名	Civil Law		
担当者名	権 敬殷		
単位	4	配当年次	学部 2年～4年
時間割	通年 火曜日 3時限 西5－B1		

授業概要

法学を専門としない履修者が、民法の基本的な知識を身につけることを目的とする。それによって、日常生活中に生ずる問題を民法的な観点から考えることのできるリーガルマインドを養う。
 授業は、大きく分けて、①民法総則、②物権法、③債権総論・契約法総論・契約法各論の計3部から構成される。民法総則では、物権法や債権法に共通する理論を学び、物権法では、物に関する権利について学習する。そして、人と人との関係を規律する債権法では、債権を発生させる契約の種類等について学び、最後に、債権の目的や債権の効力等を学ぶ。

到達目標

- ① 民法総則、物権法、債権法に関する基本的な知識を理解・習得する。
- ② 社会で起こっている様々な問題を法律的、特に民法的な観点から眺めるリーガルマインドを形成する。

授業内容

実施回	内容
第1回	ガイダンス：民法とは何か。
第2回	民法総則① 意思表示(1)心裡留保、虚偽表示
第3回	民法総則② 意思表示(2)錯誤
第4回	民法総則③ 意思表示(3) 詐欺、強迫
第5回	民法総則④ 権利の主体権利能力、意思能力、行為能力
第6回	民法総則⑤ 代理(1)代理権、代理行為、代理の効果
第7回	民法総則⑥ 代理(2)無権代理、表見代理
第8回	民法総則⑦ 時効
第9回	物権法① 「物」とは何か
第10回	物権法② 所有権(1) 所有権の内容、効力
第11回	物権法③ 所有権(2) 所有権の取得
第12回	物権法④ 所有権(3) 共同所有関係
第13回	物権法⑤ 占有権
第14回	まとめ
第15回	予備日
第16回	物権法⑥ 物権変動(1) 契約による不動産物権の変動
第17回	物権法⑦ 物権変動(2) 対抗要件主義
第18回	物権法⑧ 物権変動(3) 契約による動産物権の変動
第19回	物権法⑨ 物権変動(4) 公信の原則
第20回	契約法① 契約総論：契約法とは何か(契約の成立から消滅まで)
第21回	契約法② 契約各論(1) 権利移転型の契約(贈与、売買、交換)
第22回	契約法③ 契約各論(2) 貸借型の契約(消費貸借、使用貸借、賃貸借)
第23回	契約法④ 契約各論(3) 労務提供型の契約等(雇用、請負、委任、その他の典型契約)
第24回	法定債権(事務管理、不当利得、不法行為)
第25回	債権総論① 序説：債権の目的
第26回	債権総論② 債権の効力(1)強制履行、債務不履行
第27回	債権総論③ 債権の効力(2)損害賠償、受領遅滞、弁済の提供
第28回	債権総論④ 責任財産の保全(1)債権者代位権
第29回	債権総論⑤ 責任財産の保全(2)詐害行為取消権
第30回	まとめ

授業計画コメント

授業は、進度や受講生の理解状況等に応じて内容や順序を変更することがある。

授業方法

毎回授業で配布するレジュメを元に解説が進められる。人と人が法律行為、特に契約を締結することによってその当事者間に発生す

る権利・義務関係や、それによって人が取得する物に対する権利等について概観する。

使用言語

日本語

準備学習(予習・復習)

毎回レジュメが配布されるため、定期的に整理を行う必要がある。授業内容を復習し、そこで出てきた概念や論理を十分整理し理解するように努めること。興味を覚えた事例やトピックについては積極的に調べる姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
学期末試験(第1学期)	40 %	
学年末試験(第2学期)	40 %	
中間テスト		
レポート		
小テスト		
平常点(出席、クラス参加、グループ作業の成果等)	20 %	
その他(備考欄を参照)		

成績評価コメント

- ①第1学期(学期末試験)：40%(授業で解説した内容について、そのポイントとなる点をしっかり理解しているかどうかを確認する。)
- ②第2学期(学年末試験)：40%(一学期と同じく、授業で解説した内容について、そのポイントとなる点をしっかり理解しているかどうかを確認する。)
- ③平常点(授業参加、リアクションペーパー等)：20%
- ①②③の合計点を最終成績として、60点以上を単位取得の条件とする。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

毎回出席カードに授業に関する質問等を書いてもらい、次回の授業で説明を行う。
定期試験の解説・講評はG-portにおいて行う予定である。

教科書

民法 I 総則・物権総論,内田貴,東京大学出版会,4,2008,978-4130323512
スタートライン債権法,池田真朗,日本評論社,6,2017,978-4535520820
ポケット六法,出版社問わず、最新版

参考文献

スタートライン民法総論,池田真郎,日本評論社,3,2018,978-4535520813
民法総則：ハイブリッド民法,小野秀誠・良永和隆・山田創一・中川敏宏・中村肇,法律文化社,2,2014,9784589035844

その他

授業中の私語は厳禁。
授業の内容について、予習と復習をしてから参加することが望ましい。
毎回レジュメが配布されるため、定期的に整理を行う必要がある。

カリキュラムマップ

以下URLを参照<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/life/curriculummap.html>